



学校と家庭が連携して、道徳教育を推進していきたいと思えます。  
学校で行った道徳の授業についてお知らせいたします。家庭で話し合ってもらいたいことをもとに、お子様といろいろな話をして下さい。  
また、保護者の皆様の経験にもとづく話もできればとてもよいと思えます。  
よろしくお願いいたします。

## ★資料名

「いそいでいても」

## ★今回の道徳の授業のねらい

気持ちのよい挨拶、言葉遣いなどを心がけ、人と明るく接しようとする態度を育てます。

## ★お話のあらすじと内容

校庭であきらと遊んでいたたくやは、滑り台の下でかぎを拾いました。先生に届けようと、二人は職員室に向かいます。急いで戸を開けようとしたたくやを、あきらが注意しました。あきらの言葉で、たくやは、ノックをして、きちんとした言葉遣いで先生にかぎを渡すことができました。先生からほめられて、二人はにこにこしながら、またきちんとあいさつをして職員室を出るという内容です。

## ★子どもたちの授業のふりかえり

- どんな時でも、小さい声ではなく大きい声であいさつをしたいと思います。
- あきらやたくやみたいに、職員室に入るときは、しっかりとあいさつをしたいと思います。
- いそいでいても、学校のルールをまもりたいです。
- これから、あわてずに、考えていきたいです。

## ★家庭で話し合ってもらいたいこと

「気持ちのよいあいさつ」とは、時と場に応じた正しいあいさつであり、正しい言葉遣いや、気持ちのよい動作ととらえることもできます。それは相手の気持ちをよくし、自分もすがすがしい気持ちになります。「まず自分から」の実践を積み重ねていく中で、礼儀の大切さを自覚できるようにしたいものです。

お子さんにふだんの生活の中であいさつや言葉遣いを身につけさせるために、ご家庭においてもご家族みなさんで「まず自分から」あいさつをしていただくことが重要かと思えます。